

10年目を迎えたユネスコスクール活動

英語コースの設置や在県外国人等特別募集の実施も行われてきており（いずれも H30 年度で終了）、国際理解、多文化共生教育を積極的に推進してきました。こうした教育環境のもと H20 年に ASP ネットワークへ加盟し、以後、国内外のユネスコスクールと協働で様々なプログラムを積極的に実施してきました。

H30 年度には加盟後 10 周年の区切りを迎えますが、その間に行われてきた主な活動を紹介します。

< 1 姉妹校交流 >

アメリカ合衆国ケンタッキー州にあるアサトン高校と韓国統営市にあるドンウォン高校と姉妹校交流を行っており、相互に学校訪問、ホームステイ、授業参加、地域の史跡見学などの交流活動を行っています。



< 2 生徒海外派遣 >

- a 日本・インドネシア青少年ワークショップへの参加（2008）
8月に東京で開催されたワークショップに2名の生徒が参加し、インドネシアの高校生たちとフィールドワークやグループディスカッションを行い、交流を深めました。
- b ユネスコ青年交流信託基金事業によるタイ王国への生徒派遣（2008）
生徒1名が12月末から1月初めにかけてタイ王国に派遣され、ホームステイをしながら世界遺産見学や現地の青少年との交流活動を行ってきました。
- c ドイツ（ユネスコスクール）・フランス（パリユネスコ本部）派遣（2011）
生徒1名が派遣団に選ばれ、ドイツのユネスコスクールで行われている環境学習を視察、パリのユネスコ本部で事務局長を表敬訪問しました。
- d カンボジア・ボランティア派遣（2012）
生徒1名がカンボジアの教育施設視察の派遣団に選ばれ、現地の学校訪問や世界遺産保護のボランティア活動に参加しました。
- e 米国メリーランド州派遣（2013）
本県の姉妹州であるメリーランド州への派遣団に生徒1名が選ばれ現地高校での交流や史跡見学などを行ってきました。
- f インドネシア派遣（2017）
生徒1名がインドネシアのユネスコスクールとの交流派遣団に選ばれ、現地の学生と交流活動を行ってきました。



< 3 海外のユネスコスクールの受け入れ >

- a カナダのマルバン高校受け入れ（2012）
キズナ・プロジェクトの（東北震災地訪問）一環として来日したカナダの高校生が本校を訪問し、生徒間で自然災害への対応などについて話し合いをしました。
- b 韓国のドンウォン高校受け入れ（2017～）
姉妹校のドンウォン高校の生徒が本校を訪問し授業への参加、部活動見学などを通して交流を深めました。



< 4 海外協働学習 >

- a Rice プロジェクト（2013～2014）
日本、韓国、インド、インドネシア、フィリピン、タイのユネスコスクールが各国に共通するテーマ、「お米」について研究し、テレビ会議などを通して成果を発表し合いました。本校から 2 名の生徒が韓国のユネスコスクールに行き、プレゼンテーションを行いました。
- b FOOD プロジェクト（2015～）
日本、インド、インドネシア、タイのユネスコスクールが「食」について共同研究を行い、テレビ会議などを通して成果を発表し合いました。

< 5 ボランティア活動 >

- a 東日本大地震被災地支援ボランティアへの参加（2015）
本校生徒 2 名が被災地への派遣チームに選ばれ、現地で復興事業の手伝いや交流活動を行ってきました。
- b ユニクロ「服のチカラプロジェクト」への参加（2012～）
アフリカの難民の子どもたちに古着を贈る運動を近隣の小学校と協働で実施してきました。
- c 世界寺子屋運動への協力（2016～）
カンボジア国内の教育施設建設のため書き損じはがきを集める「世界寺子屋運動」に参加し、広報用のリーフレット作成を行い、校内に呼びかけ、はがきを集めて地元のユネスコ協会へ贈りました。



< 6 各種セミナー・研修会への参加 >

a 「高校生国際理解プログラム」(JICA 横浜主催) 生徒が参加し、海外からの JICA 研修員の方たちと交流活動を行いました。また、神奈川国際交流財団が主催する「青少年国際セミナー」にも参加してきており、他校の高校生と一緒に学びを深めています。



b UNESCO/ESD 交流セミナー (東海大学主催)

毎年複数の生徒が参加し、県内外の外国人学校・インターナショナルスクールの生徒たちと様々なワークショップ等を通じて交流を深めています。

< 7 海外視察の受け入れ >

a 韓国教員団受け入れ (2010・2012)

国連大学が主催する韓国教員団の学校・教育施設訪問の一環として二度にわたり、韓国の先生方が来校し、生徒・教員との交流や部活動への参加などを行いました。また、日本からの韓国訪問団に本校から二度にわたり教員が派遣されました。

b アジア地域ユネスコ国内委員訪問

アジア諸国の国内委員が日本の教育視察のため来日、その一環として本校を訪問しました。授業に参加し、それぞれの国についてのプレゼンテーションや生徒たちとの交流活動を行いました。

< 8 近隣地域との交流 >

a 厚木ユネスコ協会との連携厚木ユネスコ協会の青年部が実施するユースキャンプへ生徒が参加したり、本校卒業生が青年部に入って積極的に活動をしています。秋のユネスコ祭にも生徒が参加しています。

b インターナショナルスクールとの交流

近隣にあるインターナショナルスクールの生徒たちと E S S クラブの生徒が交流活動を始めました。

c 神奈川ユネスコスクール大会への参加

毎年、大会へ参加し活動報告を行っています。



ESD*1、SDGs*2への取り組み

・様々なユネスコスクールの活動プログラムを通して持続可能な社会の形成について学び、実践しています。

* 1 Education for Sustainable Development, 持続可能な開発のための教育

* 2 Sustainable Development Goals, 持続可能な開発目標

主な取り組みテーマ

・「多文化共生」「ESD活動の普及」「国際協働学習」「SDGs理解」「国際交流活動」

近況報告・学校からのメッセージ

H29年度から国際理解教育の推進として、海外修学旅行を実施しています。また、委員会活動の一環として「ユネスコ委員会」が立ち上がり、姉妹校訪問団の受け入れ事業の運営、服のチカラプロジェクトの推進、文化祭での展示など学校全体でユネスコ活動や国際交流活動に取り組むためのコーディネーター役として、メンバーたちの活躍が期待されます。

ユネスコスクール活動の次の10年に向けて委員会、クラブ活動、クラス、学年、学校全体などそれぞれの場と機会に応じたかたちでESDの推進、SDGsへの取り組みなどを行っていきます。国内、国外の学校とも様々な協働プログラムや交流活動を実施することができたらと考えています。

今後ともよろしくお願いたします。